

自律アクセス ポイントでの Cisco IOS のアップグレード

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[アップグレード プロセス](#)

[GUI での Cisco IOS のアップグレード](#)

[CLI での Cisco IOS のアップグレード](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[トラブルシューティング手順](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、自律アクセス ポイント上の Cisco IOS® イメージを GUI または CLI を通じてアップグレードする方法を示します。

前提条件

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、Cisco IOS Software Release 12.3(8)JEA を実行する Cisco Aironet 1240AG シリーズ アクセス ポイントに基づいています。

注: この手順は、すべての自律アクセス ポイントに適用できます。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

アップグレードは、新しい Cisco IOS イメージで使用可能となった新機能を活用するとともに、以前のソフトウェア バージョンの問題を修正するために実行されます。通常は、定期的なメンテナンス タスクの一部として実行されます。GUI または CLI のいずれかを使用して、アクセス ポ

イント上の Cisco IOS をアップグレードできます。

このドキュメントで使用する IP アドレスは次のとおりです。

- TFTP サーバの IP アドレスは、10.77.244.196 です。
- アクセス ポイントの IP アドレスは、10.77.244.194 です。

このドキュメントでは、アクセス ポイント (AP) は、Cisco IOS Software Release 12.4.10b-JA3(ED) にアップグレードされます。

アップグレード プロセス

GUI での Cisco IOS のアップグレード

このセクションでは、GUI を介してアクセス ポイントをアップグレードする方法について説明します。次の手順を実行します。

1. AP の現在のソフトウェア バージョンを確認します。GUI にログインするため、ブラウザを開いて、アドレスバーに `http://<ip address of the ap>` と入力します。メイン ページの左側で、[System Software] メニューをクリックします。[Software Upgrade] オプションを選択し、[System Software Version] フィールドで現在の Cisco IOS バージョンを確認します。注：Cisco.com からファームウェアをダウンロードする方法については、[Cisco Software Downloads FAQ](#) を参照してください。
2. ソフトウェア アップグレードのページで、[図 1](#) に示すように、TFTP アップグレードを選択します。注：この画面でも Cisco IOS のバージョンを確認できます。
3. TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
4. [図 1](#) に示すように、[Upgrade System Software Tar file] フィールドにアップグレードする Cisco IOS ソフトウェア ファイルの名前を指定します。注：円滑にアップグレードするために、元の Cisco IOS ファイル名は変更しないでください。名前は、cisco.com からファイルをダウンロードしたときのままにします。
5. [Upgrade] ボタンをクリックします。[図 2](#) に示すようなステータス ウィンドウが表示されます。これには数分かかります。その後、アップグレードが完了すると、AP がリブートされます。

図 1

Cisco IOS Series AP - System Software - Software Upgrade - Microsoft Internet Explorer

File Edit View Favorites Tools Help

Back Forward Stop Refresh Home Search Favorites

Address http://10.77.244.194/ap_system-sw_upgrade-b.shtml

Cisco Systems

Cisco Aironet 1240AG Series Access Point

HOME
EXPRESS SET-UP
EXPRESS SECURITY
NETWORK MAP +
ASSOCIATION +
NETWORK INTERFACES +
SECURITY +
SERVICES +
WIRELESS SERVICES +
SYSTEM SOFTWARE
Software Upgrade
System Configuration
EVENT LOG +

HTTP UPGRADE **TFTP UPGRADE**

Hostname **ap** ap uptime is 25 minutes

System Software: Upgrade- TFTP Upgrade

System Software Filename: c1240-k9w7-tar.123-8.JEA2
System Software Version: 12.3(8)JEA2
Bootloader Version: 12.3(7)JA1

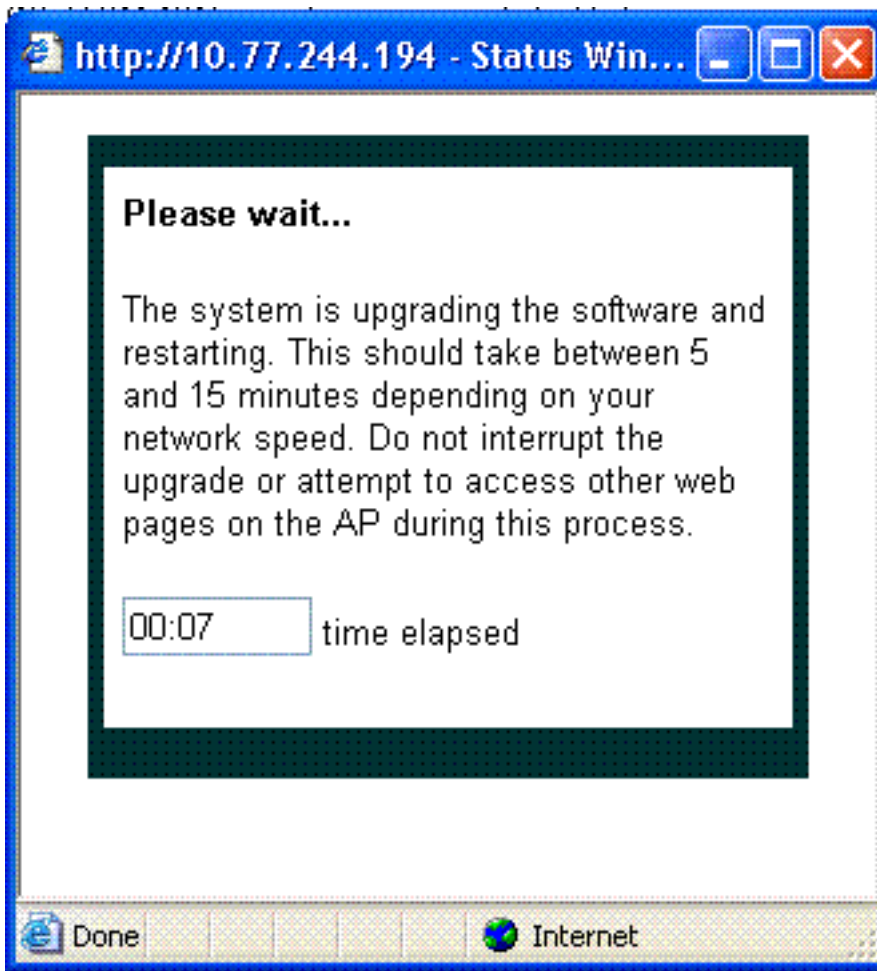
TFTP File Server: (server name or IP address)

Upgrade System Software Tar File: (path/filename)

Close Window Copyright (c) 1992-2006 by Cisco Systems, Inc.

Done Internet

图 2



CLI での Cisco IOS のアップグレード

このセクションでは、CLI を介してアクセス ポイント上の Cisco IOS をアップグレードする方法を説明します。

1. Telnet セッションでアクセス ポイントにログインします。
2. 新しいイメージ ファイルをダウンロードして、現在のイメージを置き換えたり、保存したりできます。注: Cisco.com からファームウェアをダウンロードする方法については、[Cisco Software Downloads FAQ](#) を参照してください。注: 現在のイメージを保存しておく、Cisco IOS ファイルのいずれかが破損した場合に役立ちます。フラッシュ内の他のイメージを使用してアクセス ポイントで作業できます。
3. 既存のファイルを上書きすることを選択する場合 **archive download-sw /overwrite /reload tftp://location/image-name** コマンドを発行して下さい。/overwrite オプションを指定すると、フラッシュ内のソフトウェア イメージが、ダウンロードしたイメージで上書きされます。/reload オプションを指定すると、設定を変更して保存していない場合を除き、イメージのダウンロード後、システムがリロードされます。/location には、TFTP サーバの IP アドレスを指定します。image name には、アクセス ポイントをアップグレードするために使用予定の Cisco IOS ファイル名を指定します。この例では、コマンドは **archive download-sw /overwrite /reload tftp://10.77.244.194/c1240-k9w7-tar.124-10b.JA3.tar** です。前述のとおり、Cisco IOS ファイルの名前は変更しないでください。デフォルトのままにしておいてください。ファイルが正常に転送されると、以下のログが記録されます。

```
examining image...
```

```
Loading c1240-k9w7-tar.124-10b.JA3.tar from 10.77.244.196 (via BVI1): !
```

```
extracting info (275 bytes)
```

```
Image info:
```

```
Version Suffix: k9w7-.124-10b.JA3
Image Name: c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3
Version Directory: c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3
Ios Image Size: 4813312
Total Image Size: 5560832
Image Feature: UNKNOWN
Image Family: C1240
Wireless Switch Management Version: 1.0
Extracting files...
c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3/ (directory) 0 (bytes)
c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3/html/ (directory) 0 (bytes)
c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3/html/level/ (directory) 0 (bytes)
-----Lines omitted -----
Deleting target version: flash:/c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3...done.
New software image installed in flash:/c1240-k9w7-mx.124-10b.JA3.
Configuring system to use new image...done.
Requested system reload in progress...
```

4. 既存のファイルを保存するように選択した場合は、**archive download-sw /leave-old-sw /reload tftp://location/image-name** コマンドを実行します。新しいイメージをインストールする十分なスペースがない場合に、現在稼働中のイメージを保存しようとする、ダウンロードプロセスが停止して、エラーメッセージが表示されます。
5. AP は DHCP サーバから指定された Cisco IOS ファイルをダウンロードし、新しいソフトウェアをリロードします。

確認

TFTP サーバで、このファイル転送に関するログを受信したかどうか確認します。TFTP サーバソフトウェアとして `tftpd32` を使用している場合、AP への Cisco IOS ファイルの正常な転送に関する以下のログが見つかります。

```
Read request for file <c1240-k9w7-tar.123-8.JEA2.tar>. Mode octet [18/08 17:10:14.562]
<c1240-k9w7-tar.123-8.JEA2.tar>: sent 10021 blks, 5130240 bytes in 89 s. 0 blk resent [18/08
17:11:42.812]
```

新しいイメージがダウンロードされると、アクセスポイントは自動的にリロードされます。この時点で、アクセスポイントへの接続は失われます。AP にログインし直します。GUI で、[System Software] メニューを使用して、新しいソフトウェアがロードされているかどうか確認します。CLI を使用している場合は、**show version** コマンドを使用してこれを確認できます。AP のイメージがアップグレードされたかどうか確認するため、Cisco IOS ソフトウェアについて記述された 1 行目を調べます。

トラブルシューティング

トラブルシューティング手順

アップグレードが成功しなかった場合は、以下のチェックを実行します。

1. アクセスポイントから TFTP サーバに到達できることを確認します。AP と TFTP サーバの IP アドレスの割り当てを確認します。
2. ファイアウォールが TFTP ポート `udp 69` をブロックしていないか確認するため、ファイアウォールを無効にします。ネットワーク上に、TFTP サービスを阻止するように定義された ACL がないかどうか判別します。

3. Cisco IOS ファイルが TFTP サーバのルート ディレクトリに存在することを確認します。ルート ディレクトリは、TFTP サーバの現在のディレクトリとも呼ばれます。
4. 特定のモデルのアクセス ポイントに適したイメージをダウンロードしたことを確認します。適していない場合は、AP 上のダウンロード アルゴリズムがイメージを拒否しエラーを表示します。
5. アクセス ポイントが、ダウンロード ページでイメージに関して指定されたメモリ要件を満たしていることを確認します。フラッシュ内に Cisco IOS ファイルを保持するための十分な領域がない場合は、エラー メッセージが生成されます。
6. GUI を使用して AP をアップグレードしている場合は、ブラウザがサポートされていることを確認します。アップグレード プロセス中は、ステータス ポップアップ ウィンドウが表示されます。ブラウザが AP からのポップアップ ウィンドウの表示を許可していることを確認します。Microsoft Internet Explorer (IE) 6.0 以降がサポートされているブラウザです。サポートされているブラウザの詳細については、『[Cisco Aironet アクセス ポイント Cisco IOS ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド Cisco IOS Releases 12.4\(10b\)JA および 12.3\(8\)JEC](#)』の「[Web ブラウザ インターフェイスの使用方法](#)」セクションを参照してください。
7. アップグレード プロセスの失敗が原因で、AP が ap: モードのままとなり、permission denied エラー メッセージが表示されることがあります。Cisco IOS を AP にリロードする方法については、『[Cisco Aironet アクセス ポイント Cisco IOS ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド Cisco IOS Releases 12.4\(10b\)JA および 12.3\(8\)JEC](#)』の「[トラブルシューティング](#)」セクションを参照してください。

関連情報

- [ファームウェアと設定の管理](#)
- [アクセス ポイントのトラブルシューティング](#)
- [ワイヤレス LAN コントローラ \(WLC\) のソフトウェア アップグレード](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)